

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	都市建設部
	課名	土木課
	係名	維持係
	記入者	
	電話(内線)	239

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	舗装修繕事業			(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市		
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)	
② 施策コード	23301	(総合計画掲載ページ 77～79 ページ)			会計区分		一般会計		
基本目標(政策)	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)			財源区分	国庫補助				
基本施策	2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)			予算科目	款 8		項 2	目 2	
施策	③道路維持管理の充実			予算書上の	市道舗装修繕事業費				
施策内容	1安全に利用できる道路管理			事業名称	(予算書 135 ページに掲載)				
(5) 事業期間		開始		24	年	4	月から	(8) 事務分類	
	終了			年			月まで (		力年)
							根拠法令		
								自治事務	

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
道路の利用者	老朽化して傷んだ舗装を修繕し、快適に通行できる道路とする。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
結城市道路修繕計画に基づき、舗装が老朽化している舗装道路の修繕工事を実施する。修繕工事の内容を決める為に、路面基礎調査を行い道路の劣化度を求め、修繕内容を決定する。 平成27年度 市道0224号線(鹿窪・林) L=780m 平成28年度 市道0228号線(山川新宿) L=750m 市道0113号線(大木) L=380m 平成29年度 市道0113号線(大木・田間) L=950m 平成30年度 市道0113号線(大木・田間) L=650m 市道0109号線(中央町1丁目) L=200m 平成31年度 市道0113号線(大木・上山川) L=650m	国の緊急経済対策により、防災・安全社会資本整備交付金事業として、平成24年度以降設けられた事業。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
結城市道の延長は実延長832.6kmにおよび、うち522kmが舗装済みとなっており、近年は舗装の老朽化が進み、修繕工事に多額の予算を要している。このため、市民からの要望にも対応が追い付いていない状況の中で、国の補助金を導入し、幹線道路等まとまった延長の舗装修繕を実施する。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
（１）事務事業費の 事業費	舗装修繕工事	41,634		37,000							
	路面基礎調査委託	0		1,685							
	合計	41,634		38,685							
財源	国庫支出金（千円）	22,000		16,500							
	県支出金（千円）										
	地方債（千円）			12,100							
	その他特定財源（千円）										
	一般財源（千円）	19,634		10,085							
	合計（千円）	41,634		38,685							
	補助・起債制度名	防災・安全社会資本整備交付金		防災・安全社会資本整備交付金							

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	舗装修繕工事延長	目標値	m		1,130	950	850	850	
		実績(見込)値		780	860				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	整備率(延長%)	目標値	%		40	55	70	85	
		実績(見込)値		23	40	55	70	85	
		達成率		27.1 %	47.1 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
舗装修繕事業では、予算の範囲内で必要性を考慮し、結城市道路修繕計画にて位置づけられた箇所の修繕を計画的に取り組んだ。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	市民から多くの要望があり必要性は高い					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	道路管理者が実施することが責務である					
	手段の妥当性	A	妥当である	現在の手段が一般的である					
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	年々舗装修繕の要望が増える中、緊急性・必要性を考慮し、修繕計画に基づき予算の範囲内で施工を行っている					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市内全域で舗装された市道を対象としており、道路管理者が実施すべき内容であり公平性は高い					
有効性	成果の向上	A	上がっている	交通安全性の向上・危機回避が図られた					
進捗度	事業の進捗	C	遅れている	経年劣化している舗装道路が多々ある中、本事業が導入されたのが近年であり、限られた予算の範囲内での対応となるために市全体路線においての進捗率は低い					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
本事業は老朽化した道路舗装の修繕をまとまった距離で対応出来ることから、必要性・有効性の高い事業である。生活道路については、昭和40年から50年代にかけて舗装新設を行なった箇所の老朽化が特に激しく、良好な交通環境を目指すためには、適切な改修合整備の計画策定が重要である									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
結城市道路修繕計画について、緊急性・必要性を考慮し、数年毎に見直しが必要と思われる									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)			舗装従前路線が増えていく中で、常にその箇所に応じた費用対効果を考慮し、最適な施工方法を選定してコスト削減、成果向上を図る。なお、人と金の拡充については、財政状況と出来る限り調和を図りながら進める				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				